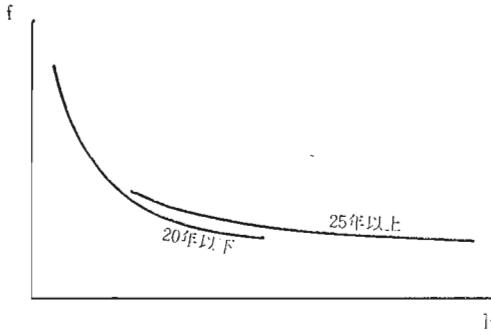
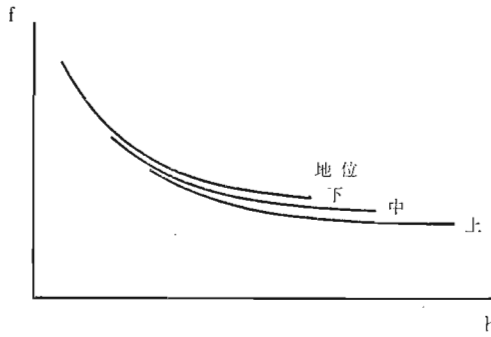


第1図 樹高一形数 (令階別)



また一方、上述の資料を地位指数 (40年時の樹高) で区分し、それぞれの傾向をみれば第2図のようになっており、地位の高い方が形数の小さいとは確認できる。

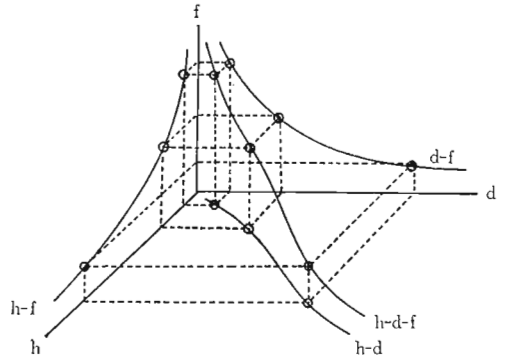
第2図 樹高一形数 (地位別)



ところで、胸高形数は胸高直径の函数でもある。その関係は第3図のようになっているので、 $h-f$ (又は $d-f$) の関係と $h-d$ の関係を平面的に図示すると第4図が得られる。この形数を用いて単木材積表も得

られる。25年以上の組の形数を用いて成木の、20年以下の組の形数を用いて間伐材等の幹材積表としての利用も考えられる。

第3図 樹高一直径一形数 (立体図)



第4図 樹高一直径一形数 (平面図)

